

イチゴ(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用 機 構 分 類 コ ー ド	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	灰 色 か び 病	菌 核 病	萎 黄 病	黒 斑 病	芽 枯 病	疫 病	炭 疽 病	う ど ん こ 病	輪 斑 病	じ ゃ の め 病	角 斑 細 菌 病	黒 色 根 腐 病	黒 腐 病
ベニカB T殺菌粒剤細粒	11A		*t	-								◎					
サフオイル乳	NC		1	-								◎					
I Cボルドー66DFL	M1		-	-							◎						
コサイド3000DF	M1		-	-							◎				◎		
イオウFL	M2		*i	-								◎					
			*k	-								◎					
クムラス顆水	M2		-	-								◎					
トップジンM水㊦	1		*s				◎										
			*c	3			◎										
			*h									◎					
ベンレート水㊧	1		*d	1			◎				◎						
			*j	3			◎				◎						
			*s	1			◎				◎						
アフエットFL	7		1	3	◎							◎	◎				◎
カンタスDF	7		1	3	◎												
ケンジャFL	7		1	3	◎							◎					
パレード20FL	7		1	3	◎							◎					
アミスター20FL	11		1	*n	◎						◎	◎					
スクレアFL	11		1	3		◎						◎					
ストロビーFL	11		1	3			◎					◎					
ファンタジスタ顆水	11		1	3	◎							◎					
オラクル顆水	21		*j	3						◎							
ランマンFL	21		*j	2						◎							
			*p	2						◎							
フロンサイドSC	29		*j	1							◎						
フルピカFL	9		1	3	◎							◎					
セイビアーFL20	12		1	3	◎						◎						◎
スマレックス水	2		1	3	◎	◎											
ロブラール500アクアFL	2		1	4	◎												
ロブラール水	2		1	4	◎	◎		◎									
サブロール乳	3		1	5								◎					
サンリット水	3		1	3							◎	◎					
スコア顆水	3		1	3							◎	◎					
トリフミン水	3		1	5								◎	◎	◎			
ラリー乳	3		1	3								◎					
ポリオキシシナL溶	19		*q	3	◎							◎					
レーバスFL	40		*f	2						◎							
			*j	2						◎							
キノンドーFL	M1		*j	3							◎						
サンヨール乳	M1		1	6	◎							◎					
			*b	1								◎					
アントラコール顆水	M3		*a	6							◎						
ジマンダイセン水	M3		*L	6							◎			◎			
ペンコゼブ水	M3		*L	6							◎						

イチゴ

イチゴ(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(回数)	使用回数	灰色病	菌核病	萎黄病	黒斑病	芽枯病	疫病	炭疽病	うどんこ病	輪斑病	じやのめ病	角斑細菌病	黒色根腐病	黒腐病
マンゼート水	M3		*L	6							◎						
オーソサイド水80	M4		*q	5	◎				◎		◎						
ベルコートFL	M7		*m	5							◎	◎	◎				
			*f	5	◎			◎			◎	◎					
デランFL	M9	劇	*j	2							◎						
モレスタン水	M10			1								◎					
エコピタ液	-			1								◎					
ピタイチ乳	-			1								◎					
ユニフォーム粒	4・11		*e	1						◎							
リドミルゴールドMZ	4・M3		*j	3						◎							
顆水																	
ゲッター水㊦	1・10		*h	3							◎						
ニマイパー水㊧	1・10			1	3	◎					◎	◎					
シグナムWDG	7・11			1	2	◎					◎	◎					
ピカットFL	7・9			1	3	◎		◎			◎	◎					
ファンベル顆水	11・M7			1	3	◎					◎	◎					
ショウチノスケFL	9・U13			1	2	◎						◎					
ジャストミート顆水	12・17			1	3	◎											
パンチョTF顆水	3・U6			1	2							◎					
ダイアメリットDF	19・M7		*m	1								◎					
			*q	3								◎					

㊦:チオファネートメチル含有剤 ㊧:ベニミル含有剤 ㊦を使用した場合には同じ作での㊧は使用しないこと。その逆も同様(種子への処理および塗布処理を除く、詳細はP.856参照)。*a:仮植栽培期 *b:定植前 *c:仮植時及び仮植栽培期 *d:本圃定植後(但し収穫30日前) *e:定植時 *f:収穫前日まで(生育期) *g:育苗期～収穫前日 *h:収穫開始21日前まで *i:親株床初期 *j:育苗期 *k:発病前～発病初期 *L:仮植栽培期(但し収穫76日前まで) *m:育苗期(定植前) *n:苗床4回以内、本圃3回以内 *p:生育期(但し収穫30日前まで) *q:収穫開始14日前まで *s:仮植前 *t:発病前

イチゴ

イチゴ(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機 構分類 コード	人畜 毒 性	使用 時期 (日数)	使用 回数	ア ザ ミ ウ マ 類	ア ブ ラ ム シ 類	コ ナ ジ ラ ミ 類	ク ロ バ ネ キ ノ コ バ エ 類	オ オ タ バ コ ガ シ	ヨ ト ウ ム シ	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	ネ キ リ ム シ 類	コ ガ ネ ム シ 類	シ ク ラ メ ン ホ コ リ ダ ニ	チ ャ ノ ホ コ リ ダ ニ	ハ ダ ニ 類	ネ グ サ レ セ ン チ ュ ウ	ナ メ ク ジ 類
除虫菊乳3	3A		1	5		◎												
スピノエース顆水	5		1	2	◎													
ダブルシューターSE	5-1		1	2	◎		◎										◎	
コロマイト水	6		1	2									◎				◎	
コロマイト乳	6		*e	2													◎	
アタックオイル	UNM		-	-													◎	
スプレーオイル	UNM		-	-													◎	
			*g	1													◎	
トモノールS	UNM		-	-													◎	
ハーベストオイル	UNM		-	-													◎	
ラビサンスプレー	UNM		-	-													◎	
			*g	-													◎	
サフオイル乳	-		1	-		◎	◎								◎		◎	
カルホス微粒F	1B	劇	*b	1									幼					
スミチオン乳	1B		1	2		◎												
ダイアジノンSL ゾル	1B		*b *g *f	1									幼					
			*f										幼					
			*a	1									幼					
ダイアジノン粒5	1B		*b *a	1									幼					
ネマキック粒	1B		*g	1														◎
ネマトリンエース粒	1B		*g	1													◎	◎
マラソン乳	1B		3	5	カ	◎											◎	
アードント水	3A		1	4	カ	◎											◎	
アディオオン乳	3A		1	5		◎												
ガードベイトA粒	3A		*c	5								◎						
			*b *a	1									幼					
			*a	1								◎						
マブリック水20	3A	劇	1	2		◎												
アクタラ粒5	4A		*a	2		◎												
アドマイヤー1粒	4A		*a *d	1		◎												
			*d			◎												
アルバリン粒 スタークル粒	4A		*a	1		ワ												
ダントツ粒	4A		*a	1		◎												
バリアード顆水	4A	劇	1	3		◎	◎											
ベストガード溶	4A		1	3		◎	◎	チ										
			1	3				チ										
ベストガード粒	4A		*a	1		◎		チ										
モスピラン顆溶	4A	劇	1	2	◎	◎	◎	チ										

イチゴ

イチゴ(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機 構分類 コード	人畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	ア	ア	コ	ク	オ	ヨ	ハ	ネ	コ	シ	チ	ハ	ネ	ナ
					ザ	ブ	ナ	ロ	オ	ト	ス	キ	ガ	ク	ヤ	ダ	グ	メ
					マ	ラ	ジ	バ	タ	ウ	モ	リ	ネ	ラ	メ	ノ	サ	ク
モスピラン粒	4A		1	1	◎	◎							幼					
トランスフォームFL	4C		1	3	◎	◎												
ディアナSC	5		1	2	◎		◎	◎			◎							
アグリメック乳	6	劇	*m *n	2														◎
アニキ乳	6		1	3					◎		◎							◎
アフーム乳	6		1	2					◎	◎	◎							◎
コルト顆水	9B		1	3	◎	◎												
チェス顆水	9B		1	3	◎	◎												
ニツソラン水	10A		1	2														◎
バロックFL	10B		1	1														◎
コテツFL	13	劇	1	2	カ									◎				◎
アタブロン乳	15		1	3	◎						◎							
カウンター乳	15		1	4	◎						◎							
カスケード乳	15		1	3	◎			◎			◎							
マッチ乳	15		1	4	◎						◎							
ファルコンFL	18		1	3					◎		◎							
マトリックFL	18		1	3							◎							
ロムダンFL	18		1	2							◎							
カネマイトFL	20B		1	1														◎
マイトコーネFL	20D		1	2														◎
サンマイトFL	21A	劇	*i	1		ワ	◎							◎	◎	◎		◎
ダニトロンFL	21A		1	1														◎
ハチハチFL	21A	劇	*L	1	◎	◎		◎										◎
トルネードエースDF	22A		1	2					◎		◎							
ファイントリムDF	22A		1	2					◎		◎							
アクセルベイト粒	22B		1	3							◎							
モベントFL	23		*k	1	灌	灌	灌											灌
				3	◎	◎	◎											
スターマイトFL	25A		1	2										◎				◎
ダニサラバFL	25A		1	2														◎
ダニコングFL	25B		1	1														◎
フェニックス顆水	28		1	2					◎		◎							
ブレバゾンFL 5	28		1	2							◎							
ベネビアOD	28		1	3	◎	◎	◎	チ			◎							
ベリマークSC	28		*k	1	灌	灌	灌				灌		灌					
ヨーバルFL	28		1	2			◎		◎		◎							
ウララDF	29		1	2		◎	◎											
グレーシア乳	30		1	2	◎				◎		◎							◎
ダニオーテFL	33		1	2														◎
ファインセーブFL	34	劇	1	3	◎													

イチゴ

イチゴ(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機 構分類 コード	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	ア	ア	コ	ク	オ	ヨ	ハ	ネ	コ	シ	チ	ハ	ネ	ナ
					ザ	ブ	ナ	ロ	オ	ト	ス	キ	ガ	ク	ヤ	ダ	グ	メ
					ミ	ラ	ジ	バ	タ	ウ	モ	リ	ネ	ラ	ノ	ダ	サ	ク
					ウ	ム	ラ	ネ	バ	ム	ン	ム	メン	メン	ホ	ニ	レ	ジ
					マ	シ	ミ	コ	コ	シ	ヨ	シ	ホ	コ	コ	リ	セ	ウ
					シ	ミ	コ	バ	ガ	ウ	シ	ウ	コ	リ	ダ	ダ	ン	類
					マ	シ	ミ	エ	シ	ウ	シ	ウ	コ	リ	ダ	ダ	ニ	類
ブレオFL	UN		1	4	◎				◎	◎								
エコピタ液	-		*g	-														浸
オレート液	-		*j	-		◎	◎											
サンヨール乳	-		1	6	◎													◎
サンヨール液AL	-		1	6	◎													◎
ナメトックスハウス	-		*p	6														◎
ピタイチ乳	-		1	-	◎	◎												◎
ナメクリン3粒	-		1	2														◎

*a:定植時 *b:植付時(仮植床) *c:生育初期 *d:育苗期後半 *e:仮植前まで
 *f:ポット育苗時 *g:定植前
 *h:生育期(定植30日後まで)(但しマルチ被覆直前まで)
 *i:収穫開始3日前まで *j:発生初期～収穫前日まで *k:育苗期後半～定植当日
 *l:一番花の開花まで *m:親株育成期 *n:育苗期 *o:発生初期 *p:発生時
 カ:ミカンキイロアザミウマ
 チ:チバクロバネキノコバエ(チビクロバネキノコバエ)
 ワ:ワタアブラムシ
 親:親株床 浸:苗浸漬 幼:幼虫 灌:灌注処理での登録 施:施設栽培での登録

イ
チ
ゴ

イチゴ(野菜類の登録農薬も使用できる)

主要病害虫発消長		1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
病 害	早熟 露地 (春植え)					—	—						
	灰色かび病				—	—							
	促成				—	—							
	灰色かび病 うどんこ病				—	—							
虫 害	アブラムシ類			—	—	—	—						
	ハダニ類			—	—	—	—						
	チャノキイロ アザミウマ				—	—	—						

作 型 — : 栽培期 — : 収穫期
病害虫発消長 — : 発生期 — : 発生盛期

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
灰色かび病	生育期	<ol style="list-style-type: none"> 1. 敷わら又はマルチを行う。 2. 密植を避け多湿に注意する。 3. 施設やトンネル栽培では換気をよくする。 4. 発生を認めたら次の薬剤のいずれかを散布する。 ジャストミート顆粒水和剤 2000～3000倍 セイビアーフロアブル20 1000～1500倍 ダイマジン(水) 2000倍 フルピカフロアブル● 2000～3000倍 ポリオキシシンAL水溶剤● 5000倍 ロブラール水和剤● 1500倍 5. 施設栽培では、くん煙剤により予防する。◇ 6. 発病前から次の薬剤のダクト内投入を行う。 ボトキラー水和剤* 10～15g/10a/日 	<p>被害果や被害葉は伝染源となるので早めに処分する。</p> <p>●耐性菌を生じるおそれがあるので連用しない。</p> <p>◇くん煙剤の項参照</p> <p>*野菜類での登録</p>
萎黄病	仮植前	<ol style="list-style-type: none"> 1. 健全苗を用いる。 2. 次の薬剤のいずれかで根部浸漬を行う。 トップジンM水和剤⑦ 300～500倍 1時間 ベンレート水和剤⑧ 500倍 1～3時間 	<p>⑦:チオファネートメチル含有剤 ⑧:ベニミル含有剤</p> <p>⑦を使用した場合には同じ作での⑧は使用しないこと。その逆も同様(種子への処理及び塗布処理を除く、詳細はp. 856参照)。</p>

イチゴ(野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
(萎黄病)	育苗期	1. 発病株は早めに処分する。 2. 次のいずれかの薬剤を灌注する。 トップジンM水和剤#㊦ 300～500倍 3L/m ² ベンレート水和剤㊧ 500倍 50～100ml/株	# 仮植時および仮植栽培期 ㊦:チオファネートメチル含有剤 ㊧:ベンジル含有剤 ㊦を使用した場合には同じ作での㊧は使用しないこと。その逆も同様(種子への処理及び塗布処理を除く、詳細はp. 856参照)。
芽枯病	定植時	・密植、深植を避け、健全苗を用いる。	本病はリゾクトニア菌による。
	生育期	・発生を認めたら次の薬剤を散布する。 オーソサイド水和剤80 800倍	
炭疽病	定植時	・密植、深植を避け、健全苗を用いる。	病原菌はシクラメン、ベゴニア、シンビジウムにも炭そ病をおこす。
	生育期	1. 雨よけ栽培を行う。 2. 発生を認めたら、次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター20フロアブル● 2000倍 オーソサイド水和剤80 800倍 キノンドーフロアブル# 500～800倍 ゲッター水和剤●㊦ 1000倍 デランフロアブル# 1000倍 ベルクートフロアブル# 1000倍	
うどんこ病	育苗中～本畑	1. 次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター20フロアブル● 1500～2000倍 イオウフロアブル# 2000倍 ストロビーフロアブル● 3000～5000倍 トリフミン水和剤● 3000～5000倍 パンチョ T F 顆粒水和剤● 2000倍 フルピカフロアブル 2000～3000倍 ポリオキシシンAL水溶剤 5000倍 モレスタン水和剤△ 3000～4000倍 2. 施設栽培ではくん煙剤により予防する(くん煙剤の項参照)。	薬剤は葉の表裏に十分かかるように散布する。 親株床や仮植床での防除を徹底する。蔓延すると防除は困難になるので、初期の防除を心がける。 ●耐性菌を生じるおそれがあるので連用しない。 # 親株床初期の場合は、500～1000倍。 △モレスタンは高温時に散布すると薬害を生じやすい。

イチゴ

イチゴ(野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
アブラムシ類	定植時	・次の薬剤を植穴に施用し土壌混和する。 アドマイヤー1粒剤 0.5g/株	
	生育期	1. 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 ウララDF 2000～4000倍 チェス顆粒水和剤 5000倍 2. 施設ではくん煙剤により予防する(くん煙剤の項参照)。	
オオタバコガ	生育期	1. 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アフーム乳剤 2000倍 フェニックス顆粒水和剤 2000～4000倍 プレオフロアブル 1000倍	
コナジラミ類	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 チェス顆粒水和剤 5000倍 バリアード顆粒水和剤 2000倍 モスピラン顆粒水溶剤 2000倍	
アザミウマ類	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 スピノエース顆粒水和剤 5000倍 ディアナSC 2500～5000倍 モスピラン顆粒水溶剤 2000倍	
ハスモンヨトウ	生育期	・発生初期に次の薬剤のいずれかを散布する。 アタブロン乳剤 2000倍 アフーム乳剤 2000倍 エコマスターBT* 1000倍 カスケード乳剤 4000倍 サブリーナフロアブル* 500～750倍 フェニックス顆粒水和剤 2000～4000倍 プレバソンフロアブル5 2000倍	*野菜類での登録
コガネムシ類(幼虫)	仮植床	・仮植床植付時に次の薬剤のいずれかを土壌混和する。 ダイアジノン粒剤5 4～6kg/10 a フォース粒剤 6 kg/10 a	ドウガネブイブイ、ヒメコガネ、アカビロウドコガネの幼虫が根部や根冠部を加害する。

イチゴ(野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
ハダニ類	生育期	<ul style="list-style-type: none"> 発生初期に次の薬剤のいずれかを散布する。 カネマイトフロアブル 1000～1500倍 スターマイトフロアブル 2000倍 ダニサラバフロアブル 1000倍 ダニトロンフロアブル☆ 1000～2000倍 ニッソラン水和剤 2000～3000倍 バロックフロアブル☆ 2000倍 マイトコーネフロアブル 1000倍 	☆ミツバチに影響の少ない薬剤 天敵昆虫農薬(施設栽培): スパイデックス、スパイカルE X、ミヤコバンカー等
イチゴメセンチュウ	定植前	<ol style="list-style-type: none"> 健全な親株から苗を取る。 被害苗、被害株は抜き取る。 	成長点付近に寄生し、ランナーで伝播する。
ネグサレセンチュウ	定植前	<ol style="list-style-type: none"> 定植前に土壌消毒する(土壌消毒の項参照)。 次の薬剤のいずれかを全面土壌混和する。 ネマキック粒剤 15～20kg/10 a ネマトリンエース粒剤 20～25kg/10 a 	
その他の病害虫		ナメクジ	